

「国際交流の夕べ」を開催しました

国際課蔵本分室

2012年12月21日（金）、ウエルカ（徳島大学病院西病棟11階）で第9回「国際交流の夕べ」を開催しました。今年は、医歯薬大学院、疾患酵素学研究センター、疾患プロテオゲノム研究センター所属の留学生とその家族、日本人学生、教員等合わせて約100が参加し、交流を深めました。

交流会は、カルビ・ブカサ先生の乾杯のご発声で始まりました。宴もたけなわとなったころ、バングラデシュとペルーの留学生による「お国紹介」と、学生サークル「外国語研究部」の日本人学生による日本紹介が行われました。また今年は、日本人参加者による「書道」のお披露目もあり、留学生から大いに注目を浴びました。交流会の最後には、インドネシアの留学生によるインドネシア民族楽器の演奏が行われ、参加者から盛大な拍手が送られました。

最後に全員で記念撮影をし、玉置俊晃 HBS 研究部長の閉会のご挨拶で交流会の幕を閉じました。



交流会での記念撮影



インドネシア人留学生による演奏



書道を披露する大西律子さん